

カラオケで「らまゆ！」って言われたい！

4月、それは出会いの季節。コンパの二次会などでカラオケに行くことになったら、そこでも好印象を狙わない手はありません。「でも、カラオケなんてあんまり行く方でもないし、得意じゃないし…」なんて思って逃げ腰になってる、そんなあなたも大丈夫！カラオケで「うまい！」って言われたい、そんなわがママをかなえちゃいましょう！ (ロビ)

Step 1

基本編 — まずは、歌を歌う上での基本レッスンです。

一、声をしっかりと出すべし！

カラオケなどで歌うときの理想の「歌声」を作るには、「おなかから出した声をのどを通してまっすぐ出す」というイメージで声を出すのがよいでしょう。以下のことを意識して歌いましょう。

☆腹式呼吸

空気を、胸ではなくおなかに深く入れるような気持ちで呼吸をします。この腹式呼吸をすることで、よく通る声を出すことができます。歌うときは、おなかに力を入れて張ったまま声を出すような感じで。仰向けに寝転がったときは、誰でも腹式呼吸になっているので、そのときの感覚を再現しても手です。

☆声をまっすぐ出す

声を出すときのポイントは、「まっすぐ前を出す」ということ。とにかく、はっきりした声を出さなければどんな歌を歌ってもうまきは聞こえません。といっても、怒鳴るような声になってしまっはきれいに聞こえないし、のども痛めてしまいます。上あごの裏に声を当てるような感じで、上斜め前に飛ばすように声を出すとよいでしょう。

☆姿勢よく

おなかから出した声をまっすぐ出すことができるように、よい姿勢で歌いましょう。胸を張ることを心がけるだけでも声はだいぶん通りやすくなります。慣れない人は緊張するかもしれませんが、立って歌うとなおよいです。

一、音程を確実にとるべし！

本当の「音痴」ではなくても、カラオケでは慣れるまで音がとりにくいという人もいます。でも、ちょっとしたことでそんな不安も解消！

☆伴奏・ガイドメロディ

カラオケでは、伴奏に合わせて歌うことになります。当たり前のことのようにですが、慣れないうちはこれが曲者。歌い出しの音のイメージやリズムを頭の中で思い描いてから歌に入るようにしましょう。ハミングや小さな声で前奏や間奏を歌ってから歌に入ると最初の音がとりやすくなります。また、カラオケの機種や曲によっては、歌のメロディの音が伴奏の中で鳴っていることがあります。「ガイドメロディ」というもので、これをしっかりと聴けば正しい音をとることができます。

☆笑顔で歌う

カラオケでは笑顔で歌いましょう。これは、雰囲気の問題だけではなくありません。笑顔で歌う方が、音程も狂いにくいのです。無表情で歌うと、どうしても頭で思っている音より低めに声が出てしまいます。笑顔で歌い、前歯、特に上の犬歯を見せるように大きく口を開けることで、そうなるのを防ぐことができます。この口の開け方は、声がかもらないという面でもオススメです。



(工・2 すけまり)
(かどうかはよくわからない編)

Step 2

中級編 — それでは、実際にカラオケで使えるテクを伝授しましょう。

一、マイクを軽んじるべからず！

「歌がうまい人」がカラオケではいまいち実力を発揮できないという場合、原因はマイクの使い方であることが多いです。カラオケのマイクはまっすぐ入った音を拾うので、口に向けるときの角度に気をつけてしっかり持ちましょう。集音部を口から離して持つと、せっかくの音がマイクに入りません。ただし、マイクを通すと声がきつく聞こえてしまう場合があります。イ段やエ段の発音は特にそうなのですが、意識して口を縦に開けることできれいに聞こえます。声量のある人はマイクを少し口から離して持つなど工夫をしてもよいですね。声の高さによってマイクの持ち方を変えようというテクニックもあります。低音を強調したいときはマイクを少し下に、垂直に近くなるように持ち、高音を強調したいときはマイクを上の方に、水平に近くなるように持ちましょう。

Step 3

上級編 — 「うまい！」と言われるためなら陰の努力も惜しまない、という人に。

一、ひとり練習に励むべし！

得意な曲・ミュージシャンがつかめたら、それをあなたの「持ち歌」にしてしましましょう。CDを聴きこみ、何度もそれに合わせて歌って練習。このときリズムを覚え、歌詞が曲にどう乗せられているかを頭に入れておくようにするのです。その通りに歌えば、より本物っぽさが出ます。また、前奏や間奏から歌に入るタイミングをしっかり覚えておくと、実際にカラオケでスムーズに歌えます。



はみだし すてーじ

コメントがない投稿はさみしがっている。
⇒

一、曲選びは十分注意を払うべし！

もちろん、カラオケでは好きな歌を歌えばいいのですが、「うまい！」と言わせるためには、自分の得意な曲、歌いやすい曲を意識しておくことが重要です。まず、自分の声の音域を考えましょう。出しにくい音域を無理矢理歌うと、声もきれいに出不いし、音程も狂いがちになります。歌いやすい曲・ミュージシャンを見極めておくのです。そして、特にその日歌う一曲目には、無理のない音域だけで歌える曲を選びましょう。一曲目ではのどが慣らされていないので、無理が利かないのです。さらに二曲目で少し音域が高めの曲、三曲目で低めの曲を選んで歌うと、そのあとの声の調子が良くなります。

採点カラオケで高得点を狙うには

採点カラオケモードで遊ぶ、なんていうときは、下に挙げたポイントにちょっと注意してみましょう。高得点を出すためには、うまく聴かせるのとはまた違ったコツが必要なのです。

○高得点の出やすい曲、出にくい曲

音程の上がり下がりが激しくない曲、声が出しやすい音域の曲を選ぶこと。テンポが速かったりリズムが複雑だったりする曲は不向きです。できるだけリズムが単調で、テンポがゆるりの曲の方が高得点を期待できます。

○得点を稼ぐ歌い方

こぶしをきかせたり、もとの歌にない声などを入れたりすると減点されることがあります。歌い直しよりも、音程とリズムをきちんととることを優先して。また、あくまでも「マイクに入った声」が採点対象なので、マイクは口に近づけて、しっかり声を出して歌いましょう。声が大きい方が高得点が出るという傾向もあります。

(工・院 k)
(さみしいですか？ ; 編)